



開通へ向けて!

- ◎令和元年度『春の町ランプ』JR等をまたぐ橋梁架設工事が完了
- ◎令和2年度『春の町ランプ』国道3号へ接続する橋梁の下部工工事を実施!!
- 『黒崎西ランプ』国道200号接続部の道路改良工事に着手!!



No.29
令和2年8月

定期総会

令和元年7月30日、ホテルクラウンパレス北九州（八幡西区）において、多数の御来賓及び会員・関係者にご出席頂き、令和元年度の定期総会を開催いたしました。

はじめに、森副会長による黒崎バイパスの早期全線開通に向けた積極的な要望活動を展開していく旨の力強い挨拶の後、来賓の国土交通省北九州国道事務所の谷川所長から事業の進捗状況や事業の効果について説明して頂きました。

議案審議では、平成30年度の活動報告、決算、監査報告及び令和元年度の事業計画、予算、要望活動での要望内容について審議され、全て了承されました。



▲森副会長による開会挨拶

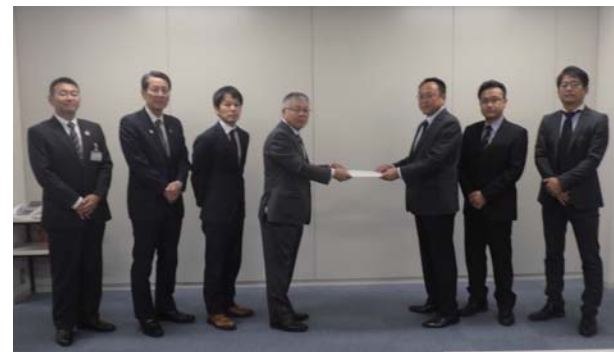


▲国土交通省北九州国道事務所谷川所長による事業進捗状況説明

要望活動

利島会長をはじめとした期成会役員を構成メンバーとして、国や国会議員等に対して要望活動を行いました。

11月12日に、国土交通省九州地方整備局を訪問し、霧道路調査官に対して、各役員より早期完成を切望する地元の声をしっかりお伝えしました。(右写真)



▲国土交通省九州地方整備局霧道路調査官へ早期完成を要望

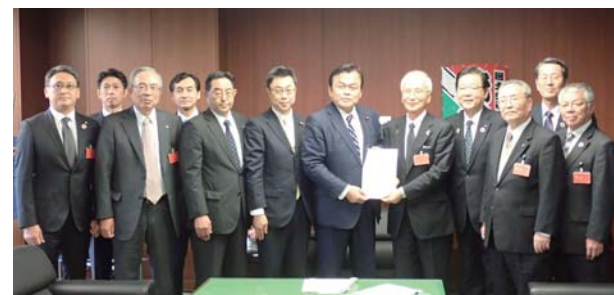
11月14日には、財務省を訪問し、麻生財務大臣に対して、「黒崎バイパスの早期全線供用に向けた本道路整備事業予算の確保」等について要望(左下写真)を行いました。また、国土交通省を訪問し、赤羽国土交通大臣に対して、「春の町ランプ、黒崎西ランプ及び陣原ONランプの事業推進」等について要望し、黒崎バイパスの早期完成を訴えてまいりました。(右下写真)

翌日には、衆議院・参議院議員会館を訪問し、地元国会議員に対しても同様の要望を行いました。

関係者の皆様のご尽力により、今回も直接、両大臣に要望することができました。



▲麻生財務大臣へ事業予算の確保を要望



▲赤羽国土交通大臣へ早期完成を要望

国道3号黒崎バイパスの概要

計画の概要

- 位 置：事業区間（八幡東区西本町～八幡西区陣原）
- 延 長：約5.8km
- 形 式：自動車専用道路
- 幅 員：17.5m
- 事業主体：国土交通省
- ランプ設置：6箇所（春の町、前田、黒崎北、黒崎西、皇后崎、陣原）

事業の経緯

- 平成2年12月 都市計画決定
- 平成3年度 事業着手
- 平成14年7月 都市計画変更
- 平成18年4月 前田熊手線開通
- 平成20年10月 黒崎北～陣原ランプ間の暫定開通(10月25日)
- 平成23年10月 皇后崎OFFランプ開通(10月7日)
- 平成24年3月 前田～黒崎北ランプ間開通(3月30日)
- 皇后崎ONランプ開通(3月30日)
- 平成24年9月 前田～都市高速道路接続区間の暫定開通(9月30日)
- 平成25年12月 都市計画変更(春の町ランプ出入口位置を春の町4丁目付近に変更)(12月25日)

黒崎バイパスの事業進捗状況

黒崎バイパスは、八幡東区西本町～八幡西区陣原を結ぶ全長5.8km、片側2車線の自動車専用道路で、国道3号の黒崎地区の渋滞解消、地域産業の振興や副都心黒崎の再生に欠くことのできない重要な道路です。

国土交通省が平成3年度から事業着手し、平成24年度までに陣原ランプ～都市高速道路接続区間までが開通しました。

令和2年度は、春の町ランプで、国道3号へ接続する橋梁の下部工工事が行われる予定です。また、黒崎西ランプで、国道200号接続部の道路改良工事、JR等をまたぐ橋梁の下部工工事、JR等をまたぐ橋梁橋脚部の用地買収が行われる予定です。さらに、陣原 ON ランプで、国道3号の舗装工事が行われる予定です。

黒崎バイパスの整備効果を最大限に発揮させるためには、現在整備中の春の町ランプ、黒崎西ランプ及び陣原 ON ランプの早期供用が必要ですので、引き続き、事業進捗に向けた事業調整等に協力するとともに、地域の声を中央省庁へ届けていきたいと考えています。

春の町ランプの事業進捗状況（令和元年度実績）

令和元年度は、春の町ランプにおいて、JR等をまたぐ橋梁の架設工事が行われました。その中でも特に、JR鹿児島本線をまたぐ箇所（上り線、下り線）では、夜間に国内最大級のクローラークレーン（3,000t級クレーン）を使用した大規模な一括架設が実施されました。今年度は、引き続き、国道3号へ接続する橋梁の下部工工事が行われる予定です。



架設時の状況（JR鹿児島本線をまたぐ橋梁（下り））

▲国道3号から福岡方面を望む



▲国道3号から福岡方面を望む

※資料：国土交通省北九州国道事務所提供

黒崎バイパスのランプ10分圏域での企業立地・共同住宅分譲状況（暫定供用に伴うストック効果）

平成20年度の暫定供用以降、黒崎バイパス沿線には新たに82社の企業が立地し、119棟の共同住宅が分譲開始されました。

黒崎バイパスの暫定供用により、国道3号や周辺道路の交通混雑の緩和、小倉都心部等への速達性・定時性や新門司地区・北九州空港等へのアクセスが向上し、その効果が得られたものと考えられます。

暫定供用に伴うアクセス向上

① 開通前 52分
国道3号 → 都市高速(大谷出入口)利用

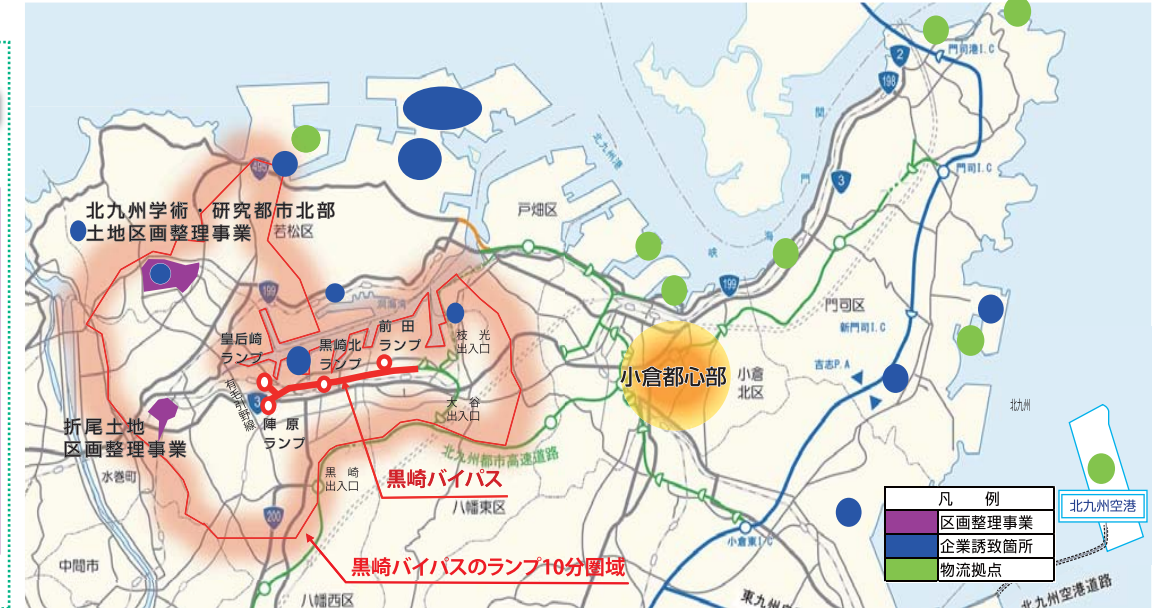
② 開通前 49分
(主)有毛引野線 → 都市高速(黒崎出入口)利用
約20分短縮(38%)

③ 開通後 32分
黒崎バイパス → 都市高速利用

北九州学術・研究都市

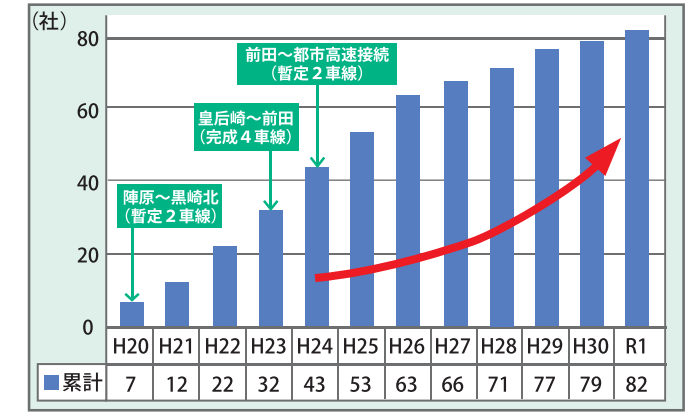
小倉都心部

※資料：国土交通省北九州国道事務所より



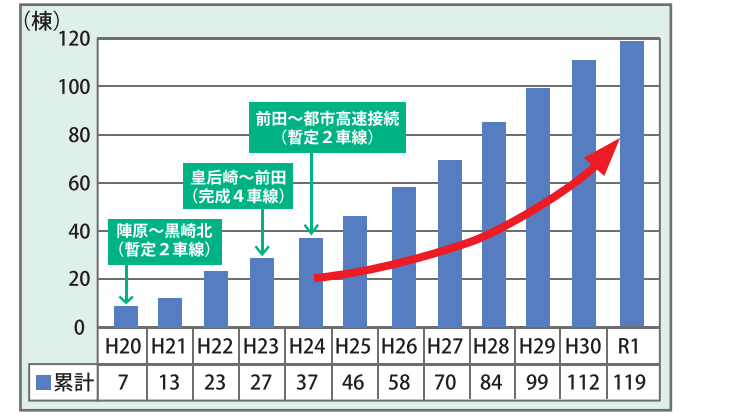
暫定供用後、82社の企業が立地！

黒崎バイパスを含めた北九州北西部地域の自動車専用道路ネットワークが形成されると、更なる企業進出が期待されます。



暫定供用後、119棟の共同住宅が分譲開始！

現在も沿線で分譲予定の共同住宅が建築中であり、全線供用すると、更なる住宅開発の促進が期待されます。



※資料：北九州市調べ

